

# デジタル時代の 監視とプライバシー

JCLU  
70周年記念  
シンポジウム

— 市民によるコントロールのために —

2017.10.1 (日) 13:30-17:30 (13:00 開場)

一橋講堂 (千代田区一ツ橋 2-1-2 学術総合センター内)

最寄駅: 神保町駅(A8・A9 出口)徒歩 4 分 / 竹橋駅(1b 出口)徒歩 4 分

テロ対策や国家安全保障を旗印に、新しい技術を駆使した国家による監視が強化されている。しかし、いかなる情報がどのような方法で収集され、どのように利用されているのかわからない。安全・安心のためならプライバシーが犠牲になることはやむを得ないのか。増大する国家の監視活動に対し、市民によるコントロールをどのように及ぼしていくか。外国における取組みや議論に学びながら考えたい。

ライブインタビュー  
by 国谷裕子氏

13:35-14:35

米国国家安全保障局による  
大量監視の実態と日本

エドワード・スノーデン 氏

CIA、NSA 及び DIA の元情報局員。テクノロジーとサイバーセキュリティの専門家。2013 年、NSA がテロと無関係な数十億の個人情報収集していたことを暴露。米国政府が監視政策を修正する大きな転換点となった。



Photo: Laura Poitras/ACLU



講演  
1

14:35-15:05

9.11 以降の監視強化の動きと  
ACLU の闘い

弁護士。1993 年から 2016 年までアメリカ自由人権協会リーガル・ディレクターを務める。約 90 名の常勤弁護士を指揮し、表現の自由、プライバシーその他多彩な訴訟を取り扱ってきた。コロンビア・ロースクール非常勤教授。

スティーブン・シャピロ 氏



15:05-15:20 日本の監視の現状 出口かおり JCLU 会員・弁護士

15:35-16:05

大量監視とプライバシー保護の  
ための仕組み

ジョセフ・ケナタッチ 氏

2015 年 7 月よりプライバシー権に関する国連特別報告者。IT 法及びプライバシー法の専門家。マルタ大学・フロンゲン大学教授。2017 年 5 月、共謀罪法案に対する懸念を表明する書簡を安倍首相に送付した。



講演  
2

16:05- ディスカッション 司会 井桁大介 JCLU 理事・弁護士

要事前  
申込み

申込みはこちらのサイトから 9月1日受付開始  
<http://privacyandcivilliberty.jp/symposium20171001/>

参加費 1,000 円  
同時通訳あり



**JCLU**  
公益社団法人 自由人権協会  
Since1947

【連絡先】公益社団法人 自由人権協会 (JCLU)  
〒105-0002 東京都港区愛宕 1-6-7 愛宕山弁護士ビル 306  
TEL:03-3437-5466 e-mail:jclu@jclu.org URL:www.jclu.org